

# Combi



## コンビ ニンナンナ A-68Q

だっこ&おんぶ兼用 しっかりホールド

### 取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。本品を他の方にお譲りになるときには、必ず本書もあわせてお渡しください。



### コンビ株式会社

製品にお気付きの点がございましたら、「お客様相談室」までご連絡ください。  
お客様相談室 / 〒339-0025 埼玉県岩槻市釣上新田271 TEL. (048)797-1000 FAX. (048)798-6109

#### もくじ

#### お使いいただく前に

ご使用前に  
安全にお使いいただくために

#### ご参考に

各部のなまえ  
お手入れ

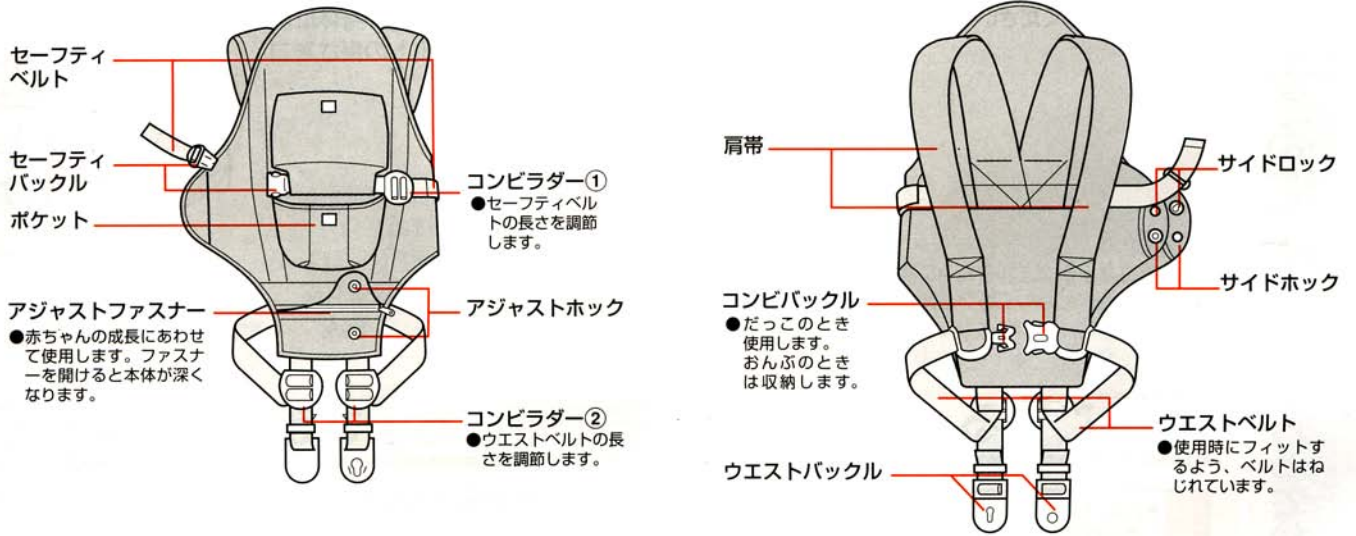
#### だっこするには

(首がすわってから～12ヵ月ころまで)  
だっこの準備  
だっこする  
①子守帯にお子さまを乗せてからだっこする  
アジャストファスナーで深さを調節する  
②子守帯を取り付けてからだっこする  
だっこのはずしかた

#### おんぶするには

(首がすわってから～30ヵ月ころまで)  
おんぶの準備  
おんぶする  
おんぶのはずしかた

# 各部のなまえ



※商品により、ポケットの形状が異なります。

## お手入れ

### 日常のお手入れ

- 洗濯は水またはぬるま湯で押し洗いし、形を整えて日陰で平干ししてください。
- 軽い汚れの場合は、湿らせた布でたたいて落としてください。

### 洗濯についてのご注意

- 色落ちすることがありますので、他のものとは別に洗ってください。また、つけ置き洗いも避けてください。
- 漂白剤、蛍光剤入りの洗剤は肌あれ・湿疹などの原因となりますので、使用しないでください。天然植物性の「コンビおむつ・肌着洗い」(粉末洗剤、液体洗剤)の使用をおすすめします。
- 洗濯機、脱水機、乾燥機の使用はしないでください。バックルなどの破損につながるおそれがあります。

### 洗濯表示



### 素材

主部位	表生地	裏生地	ベルト	バックル
製品カラー				
ネイビーブルー ベージュ	綿 ポリエステル	綿	アクリル	ポリアセタール

## ご使用の前に

このたびはコンビ ニンナナンナ A-68Qをお買い上げいただき、ありがとうございます。

この製品は、お子さまを「だっこ」や「おんぶ」して、外気浴、日光浴、買い物のときなどに使用するための1人用子守帯です。

ご使用前に、「各部のなまえ」をご確認ください。

### 使用できるお子さまの月齢について

(お子さまの発育により、同じ月齢でも体格や体重には個人差があります)

#### だっこ

首がすわってから 12ヵ月(11.3kg)まで

体重：11.3kgまで

参考月齢：首がすわってから～12ヵ月ころまで

#### おんぶ

首がすわってから 30ヵ月(14.9kg)まで

体重：14.9kgまで

参考月齢：首がすわってから～30ヵ月ころまで

※使用者の適用ウエストサイズは、55～95cmまでです。

※冬場など厚着をしますと、お子さまの体格によっては使用できなくなることがあります。お子さまの体格を考慮し、無理のない服装でご使用ください。

# 安全にお使いいただくために

## 安全上の注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、使用者およびお子さまへの危害や物的損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は危害や物的損害の大きさと危害の度合いを示すもので、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。



**警告**

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示します。



**注意**

誤った取り扱いをすると、人が傷を負ったり、物的損害が想定される内容を示します。

**いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。**

- の中に具体的な注意内容が書かれています。
- 記号は警告・注意を促す内容があることをお知らせするものです。

首がすわっていないお子さまは、絶対に**使用しない**でください。お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。



**お子さまの乗せおろし**は、必ず安全な場所で行ってください。(他の人に介添えしていただくと、より安全です) 不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。



**使用中に走ったり、飛び跳ねたり45°以上**の前かがみや横曲げなどの無理な姿勢は**しない**でください。

お子さまが落下するおそれがあります。



**おんぶするとき**は、必ずウエストバックルをとめてください。とめないで使用すると、肩から肩帯がはずれ、お子さまが落下するおそれがあります。



ウエストバックル

「セーフティベルト」や「ウエストベルト」の長さは、きつめに設定してください。お子さまと使用者の間にすき間がすぎたり、左右のベルトの長さが違ったりすると、お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。



ベルトの先端の返し縫い部分をほどこいたり、製品を改造しないでください。故障や重大な事故につながるおそれがあります。



「サイドロック」「サイドホック」「セーフティバックル」を確実にとめてください。

とめないで使用すると、お子さまがずれ落ちるおそれがあります。



サイドロック  
サイドホック

お子さまのわきの下と「セーフティベルト」の間に約4cm以上のすき間があるときは、「アジャストファスナー」を開いてください。開かずに使用すると、お子さまが落下するおそれがあります。



セーフティベルト

**だっこするとき**は、必ず手で支えてください。

お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。



**だっこするとき**は、必ず「コンビバックル」をとめてください。

とめないで使用すると、肩から肩帯がはずれ、お子さまが落下するおそれがあります。



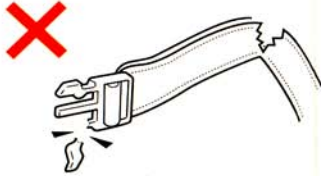
コンビバックル

# 注意

授乳後約30分以内や、連続2時間以上の使用はしないでください。  
お子さまや使用者に思わぬ負担をかけるおそれがあります。また、使用者が痛みや不快を感じたときは、使用を中止してください。



製品のほつれ、傷、やぶれを見つけたとき、またバックルなどの部品が破損したときには、すぐに使用を中止してください。  
そのまま使用すると、事故につながるおそれがあります。

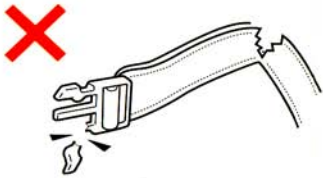


製品を火の近くや屋外に放置しないでください。

熱や雨水などでバックルや生地などが変質し、事故につながるおそれがあります。



製品のほつれ、傷、やぶれを見つけたとき、またバックルなどの部品が破損したときには、すぐに使用を中止してください。  
そのまま使用すると、事故につながるおそれがあります。



製品を火の近くや屋外に放置しないでください。

熱や雨水などでバックルや生地などが変質し、事故につながるおそれがあります。



お子さまをだっこ、またはおんぶする以外の目的では、使用しないでください。

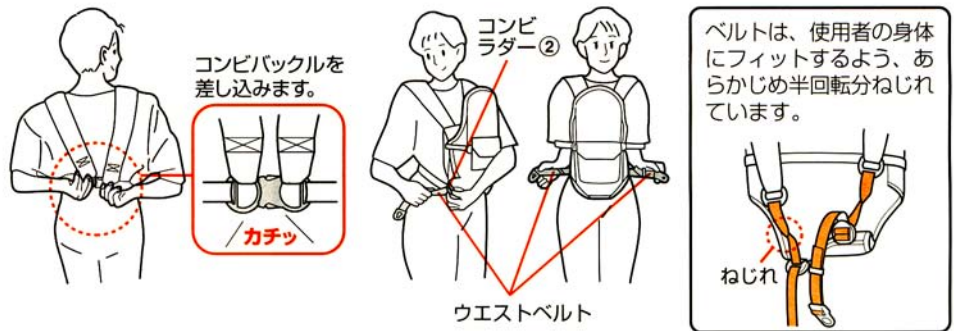
破損・故障の原因になります。



# だっこの準備

## ウエストベルトの長さを調節する

お子さまを乗せる前に、使用者の身体に肩帯があうよう、ウエストベルトの長さをコンビラダーで調節します。



## だっこする

警告

- 「コンビバックル」「サイドロック」「サイドホック」「セーフティバックル」を確実にとめてください。とめないで使用すると、お子さまがずれ落ちるおそれがあります。
- 「セーフティベルト」や「ウエストベルト」の長さは、きつめに設定してください。お子さまと使用者の間にすき間がありすぎたり、左右のベルトの長さが違ったりすると、お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。
- お子さまの乗せおろしは、必ず安全な場所で行ってください。(他の人に介添えしていただくと、より安全です) 不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。

### ●調節するには

コンビラダーの先端を指で起こし、ウエストベルトを引くと、長さを調節できます。



警告

「ウエストベルト」の長さは、きつめに設定してください。お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。

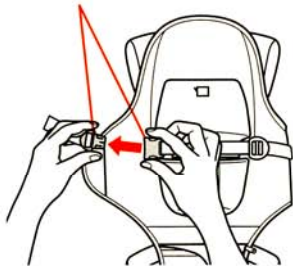
ワンポイント

ウエストベルトは、左右の長さが同じくらいになるよう調節してください。

## ① 子守帯にお子さまを乗せてから だっこする

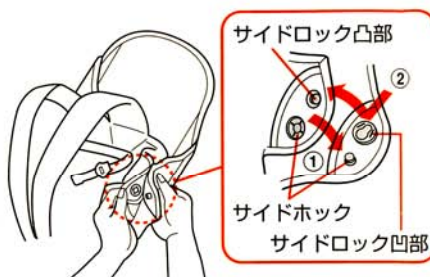
### 1 使用者の身体からいったん子守帯をはずし、セーフティバックルをはずす

セーフティバックル



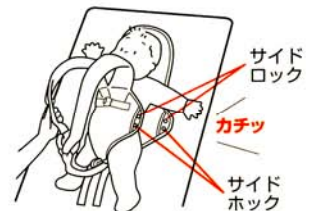
### 2 サイドホックとサイドロックをはずす

サイドロックは、サイドロック凸部を凹部の広い方にスライドさせてはずします。



### 3 お子さまを乗せ、サイドロックとサイドホックをとめる

安全な場所でお子さまを乗せてください。サイドロックは、サイドロック凸部を、広い凹部に差し込み、上方にスライドさせてとめます。(手順2参照)



### 4 セーフティバックルをとめる

「カチッ」と音がするまで差し込みます。このときセーフティベルトの長さをお子さまの体型に合わせて調節します。



### 5 コンビバックルをとめる

前かがみになり、肩帯を肩にかけ、背中でコンビバックルを「カチッ」と音がするまで差し込みます。



ワンポイント

ベビーベッドなどの台にお子さまをのせて、前かがみになることをおすすめします。

### 6 使用者の身体にフィットさせる

ウエストベルトのあまりを同じ長さに調節し、肩帯やウエストベルト、コンビラダーの表裏を整えます。



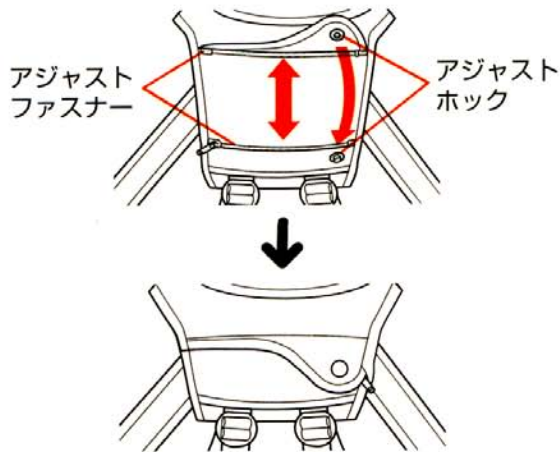
ワンポイント

肩帯は、左右の肩への負担が、同じになるように調節してください。

## アジャストファスナーで深さを調節する

### ●アジャストファスナーを閉じて使う

お子さまがまだ小さく、わきの下とセーフティベルトの間があまりない場合には、アジャストファスナーを閉じて、アジャストホックをとめてご使用ください。(6カ月ごろまでが目安です)



### ●アジャストファスナーを開いて使う

お子さまのわきの下とセーフティベルトとの間が約4cm以上になった場合には、アジャストホックをはずし、アジャストファスナーを開いて使用してください。



お子さまのわきの下と「セーフティベルト」の間に4cm以上のすき間があるときに、「アジャストファスナー」を開かずに使用すると、お子さまが落下するおそれがあります。



**ワンポイント** アジャストファスナーを閉じた状態でも、お子さまの脇の下にセーフティベルトがあたってお子さまが製品に埋もれてしまう場合には、「おむつを2枚重ねる」、「お尻の下にタオルを敷く」などしてお子さまのお尻の高さを調節してください。

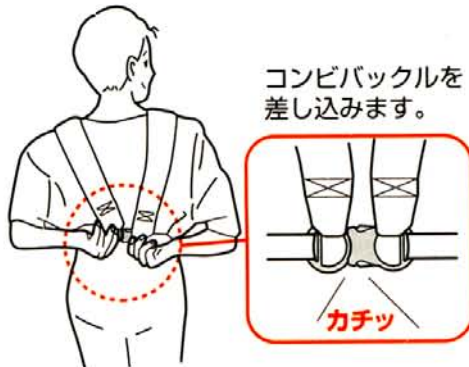
### アドバイス

だっこには、①子守帯にお子さまを乗せてからだっこする、②子守帯を取り付けてからだっこする。の2つの方法があります。使用者の状況にあわせてお使いください。

## ② 子守帯を取り付けてから だっこする

### 1 子守帯を取り付ける

肩帯を肩にかけ、背中コンビバックルを『カチッ』と音がするまで差し込みます。



### 2 お子さまを子守帯に乗せる

使用者がすわった状態で、お子さまをサイドから乗せます。



### 3 サイドロック、サイドホックをとめる

サイドロックは、サイドロック凸部を、広い凹部に差し込み、上方にスライドさせてとめます。



### 4 セーフティバックルをとめる

『カチッ』と音がするまで差し込みます。このときセーフティベルトの長さをお子さまの体型に合わせて調節します。



**ワンポイント** アジャストファスナーの調節は「アジャストファスナーの深さを調節する」をご覧ください。

### 5 使用者の身体にフィットさせる

ウエストベルトのあまりを同じ長さに調節し、肩帯やウエストベルト、コンビラダーの表裏を整えます。



**ワンポイント** 肩帯は、左右の肩への負担が、同じになるように調節してください。



**だっこのはずしかた**

**1 コンビバックルをはずす**  
安全な場所にすわり、お子さまを支えながら、コンビバックルをはずします。

**2 お子さまを安全な場所へ寝かせ**  
セーフティバックルをはずす

**3 サイドロック、サイドホックをはずして、お子さまをおろす**

## おんぶの準備

### ウエストベルトの長さを調節する

お子さまを乗せる前に、コンビバックルを肩帯の中に収納し、コンビラダー②でウエストベルトの長さを調節して、使用者のウエストに合わせます。



### ●調節するには

コンビラダー②の先端を指で起こし、ウエストベルトを引くと、長さを調節できます。

**警告** 「ウエストベルト」の長さは、コンビラダー②の表面が腰の高い位置に当たるよう、きつめに設定してください。お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。



**ワンポイント** ウエストベルトは、左右の長さが同じくらいになるよう調節してください。

### アドバイス

おんぶしているときは、使用者からお子さまが見えないので特に低月齢のお子さまの場合は、約30分ごとにお子さまをおろして様子確認するように心がけてください。

# おんぶする

## 警告

- 「コンビバックル」「サイドロック」「サイドホック」「セーフティバックル」を確実にとめてください。とめないで使用すると、お子さまがすれ落ちるおそれがあります。
- 「セーフティベルト」や「ウエストベルト」の長さは、きつめに設定してください。お子さまと使用者の間にすき間がありすぎたり、左右のベルトの長さが違ったりすると、お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。
- お子さまの乗せおろしは、必ず安全な場所で行ってください。(他の人に介添えしていただくと、より安全です) 不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。

**ワンポイント** サイドロック、サイドホック、セーフティバックルのとめかたと、セーフティベルトの長さ調節について詳しくは、「①子守帯にお子さまを乗せてからだっこする」をご覧ください。

## 1 使用者の身体からいったん子守帯をはずし、お子さまを乗せる

安全な場所でお子さまを乗せてください。サイドロックは、サイドロック凸部を広い凹部に差し込み、上方にスライドさせてとめます。



## 2 セーフティバックルをとめる

「カチッ」と音がするまで差し込みます。このときセーフティベルトの長さをお子さまの体型に合わせて調節します。



## 3 背負う

- 他の人に介添えしていただくと、より安全です。

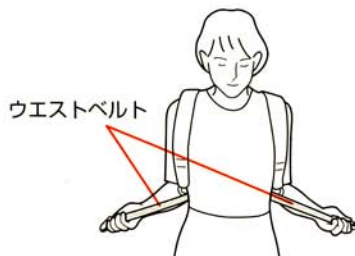


使用者が一人で背負うときには、肩帯の上部を持って行ってください。



## 4 使用者の身体にフィットさせる

ウエストベルトのあまりを同じ長さに調節し、肩帯やウエストベルト、コンビラダー②の表裏を整えます。



**ワンポイント** 肩帯は、左右の肩への負担が、同じになるように調節してください。

## 5 ウエストバックルをとめる



**ワンポイント** アジャストファスナーの調節は「アジャストファスナーで深さを調節する」をご覧ください。

# おんぶのはずしかた

1 ウエストバックルをはずす



ウエストバックル

2 背中からおろす

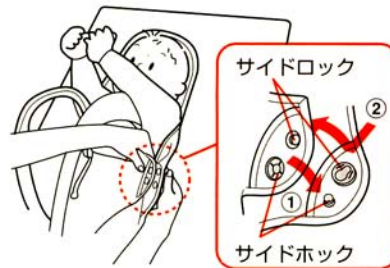


3 お子さまを安全な場所へ寝かせセーフティバックルをはずす



セーフティバックル

4 サイドロック、サイドホックをはずし、お子さまをおろす



サイドロック

サイドホック